

功労表彰

(敬称略)

多年にわたり、農業協同組合理事として町の農業振興に貢献されました。

若月 芳則 (立野)

(浪江農業協同組合理事
年・浪江農業協同組合代表理事組合長2年・ふたば農業協同組合代表理事
事10か月・福島さくら農業協同組合代表理事復興専務15年・ふたば農業協同組合筆頭理事2年・福島さくら農業協同組合代表理事復興専務15年・ふたば農業協同組合代表理事復興専務3年6か月)

多年にわたり、浪江町消防団幹部として職務に精励され、消防防災行政の向上に尽力されました。

池田 良一 (津島) (消防団歴36年、うち分团长2年)

多年にわたり、浪江町消防団幹部として職務に精励され、消防防災行政の向上に尽力されました。

橋本 堅太郎 (東京都) (大平山靈園母子像寄贈)

多年にわたり、浪江町消防団幹部として職務に精励され、消防防災行政の向上に尽力されました。

復興功労表彰

(敬称略)

多年にわたり、浪江町消防団幹部として職務に精励され、消防防災行政の向上に尽力されました。

渡部 宏 (川添) (川添南行政区長11年)



受章者代表謝辞 若月さん

施策の推進に多大なる貢献をされました。

● 浪江町仮設商業共同店舗施設管理協議会
会長 黒坂 千潮 (幾世橋)
(平成28年10月営業開始)

避難指示解除の前から花の栽培を開始し、その品質の高さから全国の市場で浪江産の花卉が高評価を受ける礎を作り、現在、積極的に後進の育成にあたるなど町の復興再生に大いに貢献されました。

(幾世橋)

全町避難や除染などにより荒れ果ててしまった農地を保全するだけでなく、避難指示解除前で除染完了直後からコメの実証栽培を開始し、水稻栽培再開にいち早く取り組まれ、町の復興再生の発信に大いに貢献されました。

全町避難や除染などにより荒れ果ててしまった農地を保全するだけでなく、避難指示解除前で除染完了直後からコメの実証栽培を開始し、水稻栽培再開にいち早く取り組まれ、町の復興再生の発信に大いに貢献されました。

● 有限会社柴栄水産
代表取締役社長 柴 孝一 (請戸)

全町避難を余儀なくされた浪江町民の被害回復(損害賠償)のため、集団ADR申立てを6年間、町の復代理人として被災者救済のために尽力されました。

半谷 好啓 (酒田)

松本 清人 (酒田) (平成26年 営農再開)

佐藤 一男 (酒田) (平成27年 営農再開)

● 浪江町支援弁護団
団長 日置 雅晴 (東京都)

(平成29年 事業再開)

避難指示解除前の平成29年2月から請戸漁港での試験操業を開始し、令和2年4月に震災から9年ぶりに競りを再開させるなど、町の水産業再興と町の復興発信に大いに貢献されました。

● 相馬双葉漁業協同組合請戸地区
代表 高野 一郎 (請戸)

水産加工業として初めて町内で事業再開し、令和2年4月に震災から9年ぶりに競りが再開できたのは仲買人の功績が大きく、町の水産業再興と町の復興発信に大いに貢献されました。

● 有限会社阿部衛生社
代表取締役社長 阿部 駿一 (高瀬)
(平成25年 事業再開)

全町避難となつた町内の衛生施設の管理を行い、復旧・復興を衛生面から支え、生活環境向上に大いに貢献されました。

(※現在は株式会社ローソン福島北支店)

多年にわたり、浪江町消防団幹部として職務に精励され、消防防災行政の向上に尽力されました。

善行表彰

(敬称略)

平成23年から活動を再開し、開始し、復興事業従事者や一時帰宅した町民へ食品をはじめとした商品を販売し、生活必需不可欠な買物環境の整備に大いに貢献されました。

● ローソン福島支店
(郡山市)
(※現在は株式会社ローソン福島北支店)

全町避難となつた町内の衛生施設の管理を行い、復旧・復興を衛生面から支え、生活環境向上に大いに貢献されました。

● 有限会社阿部衛生社
代表取締役社長 阿部 駿一 (高瀬)
(平成25年 事業再開)

全町避難となつた町内の衛生施設の管理を行い、復旧・復興を衛生面から支え、生活環境向上に大いに貢献されました。

● 株式会社浪江新聞販売センター
代表取締役 林 富士雄 (高瀬)
(平成25年 事業再開)

全町避難を余儀なくされた浪江町民の被害回復(損害賠償)のため、集団ADR申立てを6年間、町の復代理人として被災者救済のために尽力されました。

川添芸能保存会 会長 石澤 孝行 (川添)

全町避難となつた中、避難先にて活動を再開させ、全国各地で神楽を披露し、多くの町民の励ましとなりました。また、避難指示解除前から地元住民宅での訪問神楽をいち早く再開し、地域文化の復興と継承に大いに貢献され、町民の復興意欲の向上と心の復興に寄与されました。

● 川添芸能保存会
会長 石澤 孝行 (川添)

全町避難となつた中、避難先にて活動を再開させ、全国各地で神楽を披露し、多くの町民の励ましとなりました。また、避難指示解除前から地元住民宅での訪問神楽をいち早く再開し、地域文化の復興と継承に大いに貢献され、町民の復興意欲の向上と心の復興に寄与されました。

● P U R E T R E E 株式会社
代表 有田 純子 (東京都)
(平成27年 事業再開)

東日本大震災以来、浪江町民を物心両面から励まし、浪江町に多額の金品を寄付されました。

● 佐藤 一男 (酒田)
(平成27年 営農再開)

全町避難や除染などにより荒れ果ててしまつた農地を保全するだけでなく、避難指示解除前で除染完了直後からコメの実証栽培を開始し、水稻栽培再開にいち早く取り組まれ、町の復興再生の発信に大いに貢献されました。

● 佐藤 一男 (酒田)
(平成27年 営農再開)

全町避難を余儀なくされた浪江町民の被害回復(損害賠償)のため、集団ADR申立てを6年間、町の復代理人として被災者救済のために尽力されました。

● 佐藤 一男 (酒田)
(平成27年 営農再開)

全町避難や除染などにより荒れ果ててしまつた農地を保全するだけでなく、避難指示解除前で除染完了直後からコメの実証栽培を開始し、水稻栽培再開にいち早く取り組まれ、町の復興再生の発信に大いに貢献されました。

● 佐藤 一男 (酒田)
(平成27年 営農再開)

功績をたたえて 第48回浪江町功労者表彰式

11月3日(文化の日)、浪江町功労者表彰式が浪江町地域スポーツセンターで行われました。

式では、各般にわたって地域振興などに貢献された皆さんや町などに援助をいただいた皆さんに表彰され、受章者代表の若月芳則さんから謝辞が述べられました。

また今年度から新たに、様々な分野で町の復興に尽力された皆さんに対する復興功労表彰が創設され、15人が受章されました。なお、受章者は次のとおりです。



町長から式辞

問 総務課秘書係 TEL 0240(34)0239